

八幡市民アクション発足1周年 記念講演会

京都大学人文科学研究所准教授

ふじわら たつし
藤原辰史さん

《講演テーマ》

給食の哲学

きたるべき教育と福祉のかたち



＝藤原辰史さんプロフィール＝

◆1976年、北海道旭川市生まれ、島根県横田町(現奥出雲町)出身◆京都大学人文科学研究所助手、東京大学農学生命科学研究科講師を経て、現在、京都大学人文科学研究所准教授◆専門は農業技術史、食の思想史、環境史、ドイツ現代史。「食べるもの」と「食べること」から、歴史学を組み建て直すことを目指されている◆主な著書に『ナチスのキッチン「食べること」の環境史』、『トラクターの世界史—人類の歴史を変えた「鉄の馬」たち』、『食べることを考えること』、『戦争と農業』、『給食の歴史』など○「自由と平和のための京大有志の会」結成の発起人のひとり。'15年7月に「同会」が発表し、平和を希求する人たちの熱烈な支持を受けた「声明書」(右記参照)は、藤原さんが中心になって作成したもの。

自由と平和のための京大有志の会 声明書

戦争は、防衛を名目に始まる。
戦争は、兵器産業に富をもたらす。
戦争は、すぐに制御が効かなくなる。

戦争は、始めるよりも終わるほうが難しい。
戦争は、兵士だけでなく、老人や子どもにも災いをもたらす。
戦争は、人々の四肢だけでなく、心の中にも深い傷を負わせる

精神は、操作の対象物ではない。
生命は、誰かの持ち駒ではない。

海は、基地に押しつぶされてはならない。
空は、戦闘機の爆音に消されてはならない

血を流すことを貢献と考える普通の国よりは、知を生み出すことを誇る特殊な国に生きたい。

学問は、戦争の武器ではない。
学問は、商売の道具ではない。
学問は、権力の下僕ではない。

生きる場所と考える自由を守り、創るために、私たちはまず、思い上がった権力にくさびを打ちこまなくてはならない。

2019年2月1日(金)

午後7時開会(6時30分開場)

八幡市文化センター3階 第3会議室

※保育所を用意しています。ご利用ください。



(資料代として500円いただきます。)

主催 八幡市民アクション

【お問い合わせ】 日名子大介 090-2595-3392